

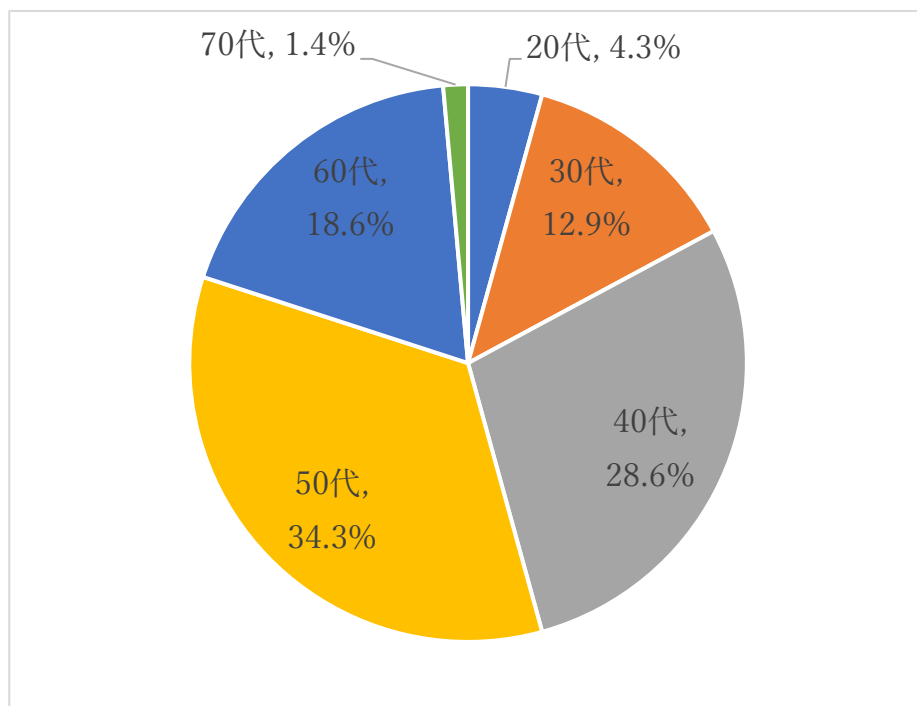
「CNJがんナビゲーター認定試験」合格者対象  
アンケート結果の報告

表題アンケート結果を、ご報告申し上げます。2016～2019年CNJがんナビゲーター認定試験合格者212名に送付し、70名の方からご意見を頂きました。(回収率33.0%)。

頂きましたコメントは、判読が難しいもの、表記が適切でないものも含め、全て記載し紹介しています。

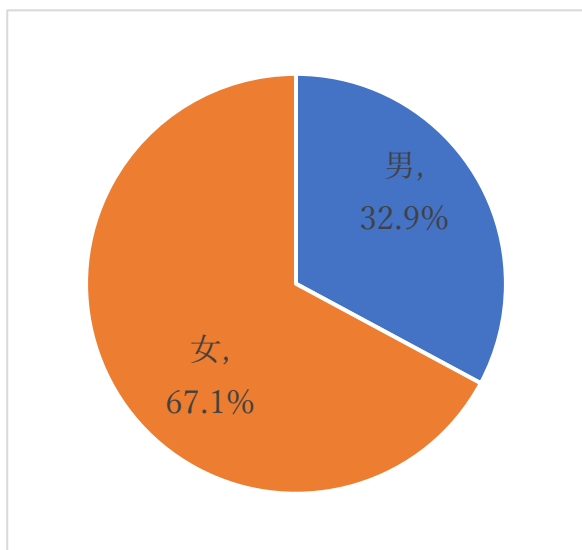
(1) 年齢 n=70

①20代	4.3%
②30代	12.9%
③40代	28.6%
④50代	34.3%
⑤60代	18.6%
⑥70代	1.4%



(2) 性別 n=70

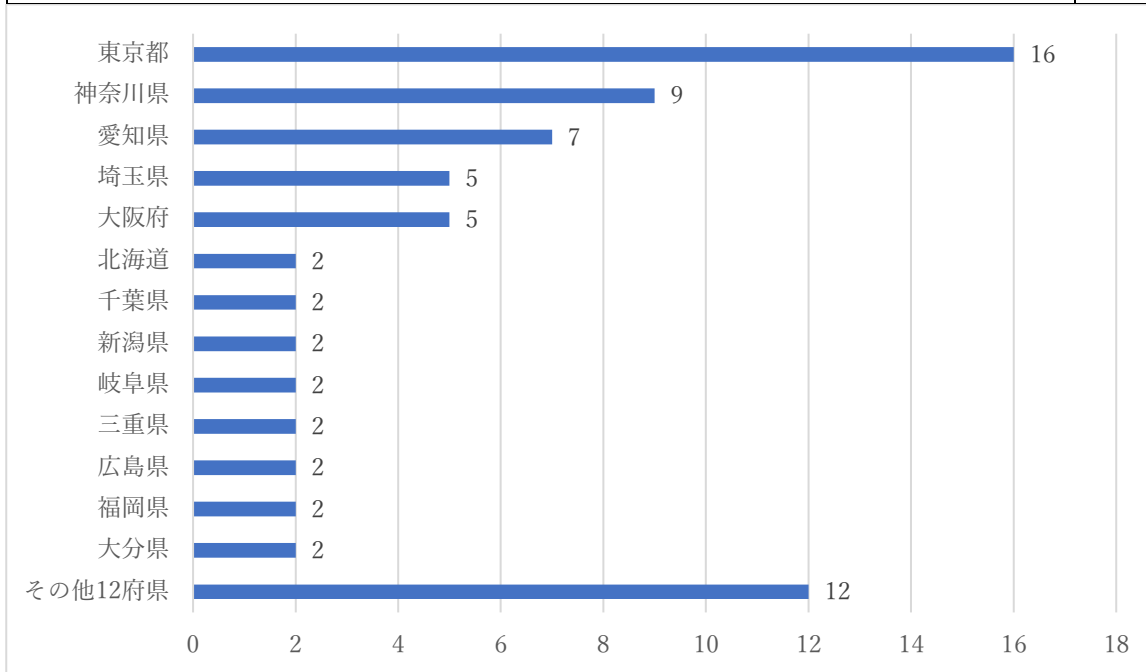
①男	32.9%
②女	67.1%



(3) お住まいの都道府県 n=70

東京都	22.9%
神奈川県	12.9%
愛知県	10.0%
埼玉県	7.1%
大阪府	7.1%
北海道	2.9%
千葉県	2.9%
新潟県	2.9%
岐阜県	2.9%
三重県	2.9%
広島県	2.9%
福岡県	2.9%
大分県	2.9%
青森県	1.4%
福島県	1.4%
栃木県	1.4%
富山県	1.4%
長野県	1.4%
静岡県	1.4%
京都府	1.4%

兵庫県	1.4%
奈良県	1.4%
徳島県	1.4%
佐賀県	1.4%
熊本県	1.4%



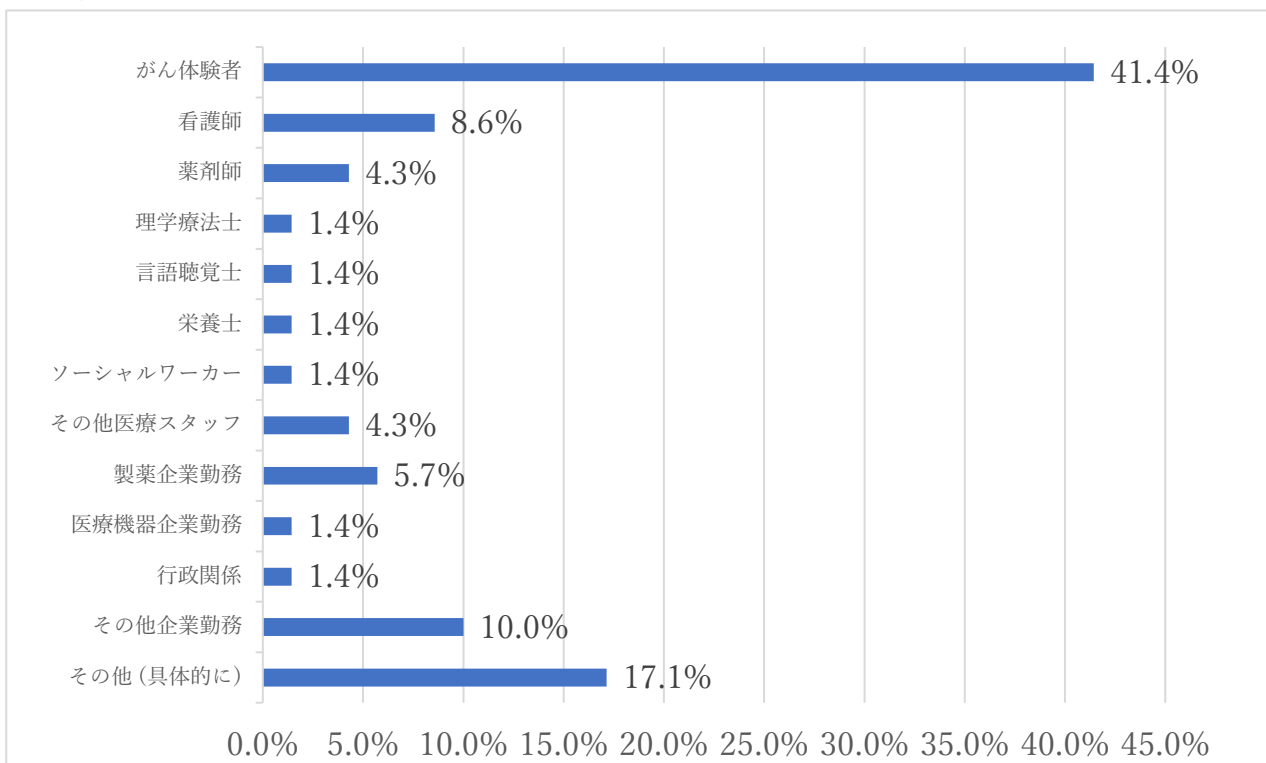
#### (4) 立場 n=70

①がん体験者	41.4%
②看護師	8.6%
③薬剤師	4.3%
④理学療法士	1.4%
⑤言語聴覚士	1.4%
⑥栄養士	1.4%
⑦ソーシャルワーカー	1.4%
⑧その他医療スタッフ	4.3%
⑨製薬企業勤務	5.7%
⑩医療機器企業勤務	1.4%
⑪行政関係	1.4%
⑫その他企業勤務	10.0%
⑬その他 (具体的に)	17.1%

#### ⑬その他詳細：

- 患者家族
- 病院図書室司書

- 鍼灸師、指圧・マッサージ師
- 遺族
- 大学院生
- キャリアコンサルタント
- がん患者家族
- 遺族
- がん患者の家族
- 公認心理師としてカウンセリング
- キャリアコンサルタント・調理師。前職は労働行政職員。
- 保険代理店



(5) 受験年度 n=70

①2016年	10.0%
②2017年	20.0%
③2018年	24.3%
④2019年	48.6%

(6) オンライン会議の経験 (Zoom など) n=70

① 無い	31.4%
②年に数回	15.7%
③月一回程度	10.0%
④週一回程度	27.1%

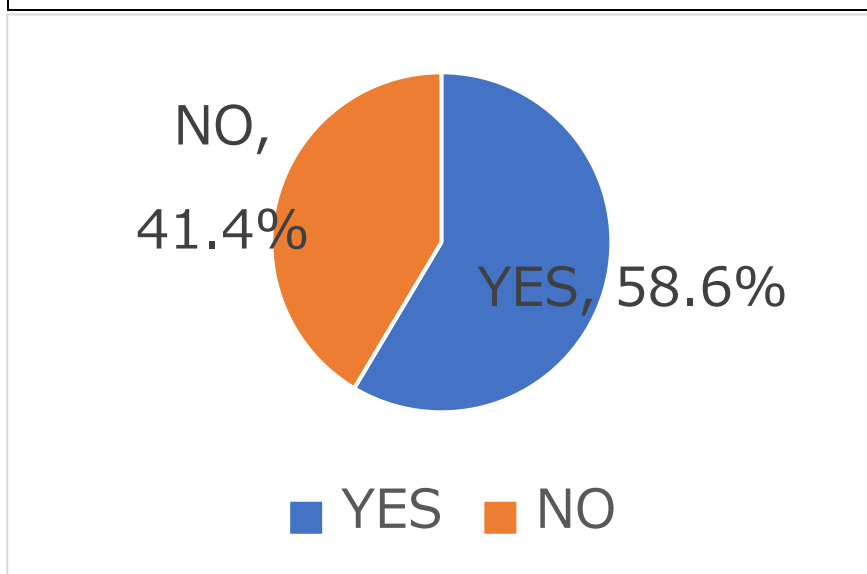
(7) CCN 認定試験受験の感想 n=70

①非常に難しかった	8.6%
②難しかった	35.7%
③普通	42.9%
④簡単だった	11.4%
⑤非常に簡単だった	1.4%

評価平均2.6 (5段階中)

(8) CCN がご自身の目的に活かされていますか? n=70

①YES	58.6%
②NO	41.4%



(9) CCN がご自身の目的に活かされていると回答された方にお聞きします。

それはどのような目的ですか?具体的に教えてください。 n=40

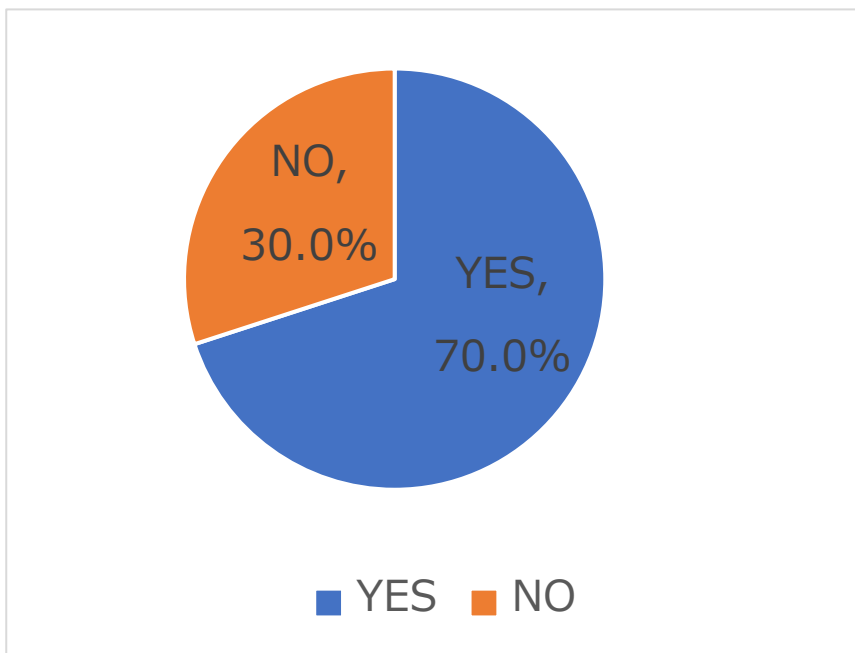
- ・ がんを患う患者様・ご家族様のちからになること。社会貢献活動。
- ・ 患者会、ピアサポート、イベントでの準備のための情報集めの根拠に自信が持てる。自分自身の治療や薬剤について最新情報を得られる。
- ・ さまざまながん種の情報が得られること。
- ・ 新しい知識への渴望
- ・ がんのピアサポート活動の時の知識、情報として役立っている。
- ・ セミナー資料を作成する際に、必ずエビデンスを確かめることを基本姿勢としてできていること。自分のかかった乳がん以外について少しでも知るきっかけになり、乳がんに関したコメントをしないですむこと
- ・ 家族ががんになり患ったときに役立った。
- ・ 情報の検索について

- 患者文庫における利用者への情報提供に役立っている。
- 友人や知人から相談を受けた際、情報の調べ方などのアドバイスに広がりがあった。自身と違うがん種について勉強になった。
- がんナビゲーターシステムを周知させる研究への一助
- 自身が体験したガン種以外のサバイバーと交流するとき、話題等に織り込める。コアサポーターとして活動する時、再発転移の状況を聞くときに知識として役立つ。
- がん患者様への対応や情報提供・ご案内など。
- ピアサポート活動や患者会活動、日々のがん患者さんとの相談業務。
- がん保険加入検討者への情報提供
- がんの 基本的な知識は、仕事でがん患者さんと接する際に役立っています
- がん患者さんからのがん相談に活用しています。
- リハを行っているときに不安材料を説明できる。
- 患者会
- 医療関係の会社に勤めていますが、幅広い知識の習得とオンコロジーの課題解決のための活動が出来ています
- 経歴の一部
- 正しい情報にたどり着けるか？自身ののスキル検証が行える。
- 患者さん、ご家族に誤った情報を伝えてしまう危険を避けるため
- 日本オストメイト協会に加入しておりがん体験者としてピアサポート活動をするにあたり、自分が罹患していないがん種についての知識を得られたから。
- 治療と仕事の両立支援に関わる中で、がんについての基本的な情報が一応理解できていると思えるので。
- 患者会の運営をしていますが、いろいろな困りごとやお悩みに対して、正しい情報とその場所をアドバイスできること。
- がんの正しい知識を習得し伝えるため
- 難しいがんというテーマに毛嫌いすることがなくなった。
- 患者さんやご家族の個別相談を行っているので。
- がんと闘う人たちに正確な情報提供することで、納得のいく治療を受け悔いのない人生を送っていただくこと
- がん患者支援活動の NPO 法人で現在活動しているが、医科歯科大でのピアサポート研修と合わせ、このナビゲーター資格を所持することで信頼を得て相談も受けているため。
- がんや治療環境に関する、情報収集や情報発信
- 患者様への指導や相談の際の資料として またその際に必要な知識習得として
- がん患者さんやそのご家族のお話を伺うために、勉強する指針になりました。営業目的と誤解されるのが悩みですが、ボランティア活動の足掛かりになります。
- がんサロン、ピアサポート相談
- 社内で罹患者が出た場合、現場と本人の勤務意思を調整したり、ご家族との面談するなど。

- ・ 自身で正しい情報を収集・理解する目的。
- ・ お客様に的確なアドバイスをする事ができるので。
- ・ 疾患に対する知識の取得

(10) CCN のことを(友人や SNS などに)紹介したことがありますか？ n=70

①YES	70.0%
②NO	30.0%



(11) CCN を紹介したことがあると回答された方にお聞きします。  
それはどのような形ですか？具体的に教えてください。 n=49

- ・ 癌フォーラムへの参加呼びかけ
- ・ 患者会やピアサポートでの「終了後」、正しい知識を得るためのソースとして紹介している。特に公開されている講演ビデオを紹介している。
- ・ 友人に CCN の情報を共有した。
- ・ 特に。日常会話の流れの中で。
- ・ 自身の取得資格として、口頭で説明した
- ・ サバイバーの友人との会話にて
- ・ キャリアコンサルタント仲間、医療分野での関係者であり、治療と仕事の両立に関心があった方へ紹介。
- ・ 会社の同僚（家族ががんになり患）
- ・ 私自信のブログで認定試験を受験して認定されました。と綴りました。
- ・ 私の名刺に記載してあった事で詳細を聞かれて
- ・ 職場の同僚や利用者に紹介した。

- 社内の会議時に紹介しました。
- がん教育に興味を持っている方に勧めた。
- がん医療に興味のある看護師の友人
- 患者交流会などで、ガンの知識の取り入れ方の1つとして紹介。
- がん患者の集まりの際の話の中で。
- HP の案内
- 同僚にこのような資格があると口頭で伝えた
- 友達が乳がんにかかったため、口頭で
- 会社内、がん患者の家族の友人に
- 同じ職場の方に、取得したこと、そして相談対応に参考となっていることなど
- リハスタッフ
- ブログ
- 同業者の仲間に紹介
- 社内シェア
- 自分がこのような認定試験に挑戦している事の紹介を同じ立場で活動している方に情報として提供。
- ピアサポーターとして共にボランティアをしている人達に学びの機会として紹介
- 日本オストミー協会に加入しており、毎月の相談会の時に紹介したことがある
- 会社のがん対策推進部門のリーダーに、試験の内容を伝えた。すでに女性の健康検定やピンクリボンアドバイザー認定試験について、社内で受験推奨と費用助成を行っており、検定試験の情報提供を行い、自分の感想を伝えたもの。(私は健康保険組合所属)
- FBなどで記事のシェア
- 私と同じ、治療と仕事の両立支援に関わるキャリア混酸ルタンとの仲間に、よい勉強になるよ、と紹介
- 「こんな資格もあるんだよ」と、認定証の写真をお見せした。
- キャンサーネットジャパンの資料に関心を持っている知り合いに送った。又オンラインセミナーへの参加を呼び掛けた。
- SNSでの合格報告
- 患者会で紹介した
- 職場で盛んにがん検診の推進が行われているため、参考情報として伝えた。
- 友人との雑談、職場の同僚との雑談、SNS など
- ガンの種類によっては、標準治療といっても日進月歩であり、昔のアプローチと変わってきており、そのような状況をCCNの動画等で見てくださいと伝えられたことがあった。
- 社内会議での紹介
- ブログ記事。(特定の個人に紹介した事はありません)
- カウンセラーの仲間に両立支援の一環として学ぶと良いと伝えた
- がんナビゲーター試験合格した際に Facebook に認定証を載せて報告。夏の盆の時

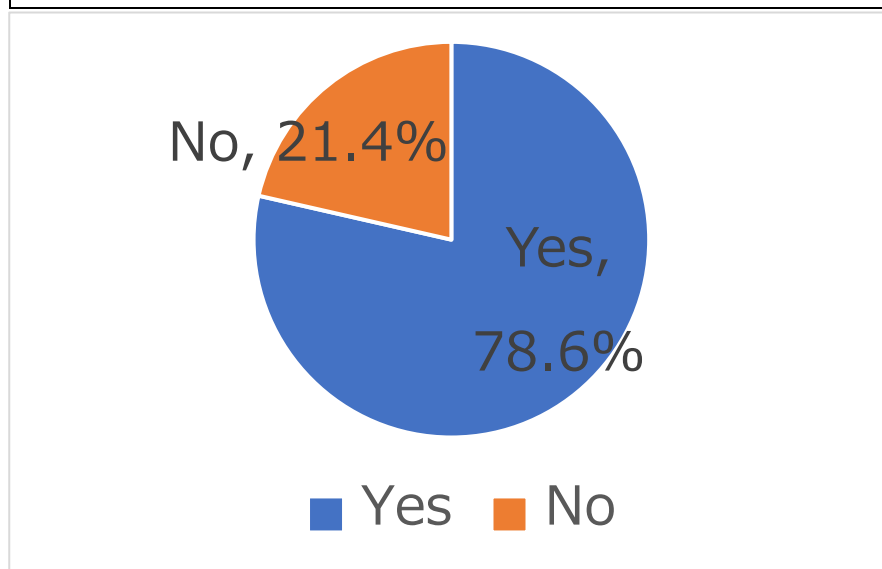


期に開催される相談会など患者様に必要に応じて印刷し配布。

- がんサバイバーの方数人に、正しい情報源として、また、がんにり患したことでご自身に否定的になっておられた方に活躍の場の一つとして紹介しました。
- LINE
- 同様の人事を担当する方に知識としてうけてみるのも良いと勧めた
- 自己研鑽で行っている旨を勤務先へ報告しました。
- 仕事で繋がりのある方に直接話した
- お客様に、この資格の説明をする際に。
- 職場の同僚に口頭で伝えた

(12) CCN 認定者間での繋がりを広げたいですか？ n=70

①YES	78.6%
②NO	21.4%



(13) CCN 認定者間での繋がりを広げたいと回答された方にお聞きします。

具体的な案がありますか？ある場合、それはどのような案ですか？ n=44

- 茶話会
- 対がん啓発イベントで標準治療を紹介していく活動を行うために、各県ごとの CCN 認定者の意見交換を行う、あるいは認定者数が少なければ BEC と意見交換する。CCN、BEC あるいは休講中の講座経験者も含めて受講後の「孤独感」を感じさせないため小回りの利く県・地域ごとの交流は必要。
- ZOOM や、認定者間での何かテーマに沿った討論会的なもの。
- 今はまだわかりません。
- オンライン、オフラインでの交流会
- OCT のように Facebook 上のグループ。投稿したい人と見るだけでいい人がそれぞれ

れいると思うので。

- ニーズが届いていない可能性が高いので、まずは領域分けして（目的別など）ZOOM会議のようなもので意見交換会実施。
- 同じような境遇の方と話しあいたい
- 一緒に経験を語る講演会を開催したい。
- 特に具体的な案はない。
- 今イメージしているものではありません
- 定期的に zoom などを使って、話を聞きたい。
- フェイスブックなどで CCN に関するアカウント作成や定期的なミーティング
- 具体案ではありませんが、皆さんがどのように活用されているか知りたいと。
- がん患者様が求めておられるサポートに対してお役に立てることがあれば、ボランティア的に何かできればと思います。
- 年に 1 回程度集まりをすとか
- 研修会開催
- 具体的な案はない
- 今のところ、具体的な案は思い浮かびません。
- 勉強会
- 情報の収集と提供の方法。
- 地方部会や、総会
- オンラインや掲示板等での情報交換
- コミュニティ型の双方向のやり取りが出来る繋がり
- facebook 等の SNS でグループを作り情報交換及び交流を深める。
- 特に思いつきません。繋がることで、より広く情報を共有できるかと思いますが、自分自身が参加できるか自信はありません。
- CCN の講演会があっているがそのあと交流会を開く、チャットの立ち上げ、ZOOM 交流会など
- 講師による、がん医療の現状や最新の治療情報の勉強会。
- 具体的には今すぐ思いつかないですが、イベントや勉強会などでお目にかかれればよいな、と。
- リアルにお会いできたらいいのですが、認定者名簿の作成と、地域内オンライン交流会、全国オンライン交流会など。（人数の関係から全国は困難か・・・）
- インターネットで悩みごとの相談が出来る場を設けるとか地域でどの様な方が会員になっているか確認できれば時折にでも集まることも可能かと思えます。
- 多職種での繋がりがほしい
- オンラインミーティング、グループチャット、地域別懇親会
- 関西圏など、近場で一緒に活動できそうな方と繋がりたい。
- zoom でお話し会など
- 地方ごとにイベントを開催
- 同じがん種類の CCN での集まり（今であれば ZOOM 会議か）などに、時間があえ

ば参加してもよいです。

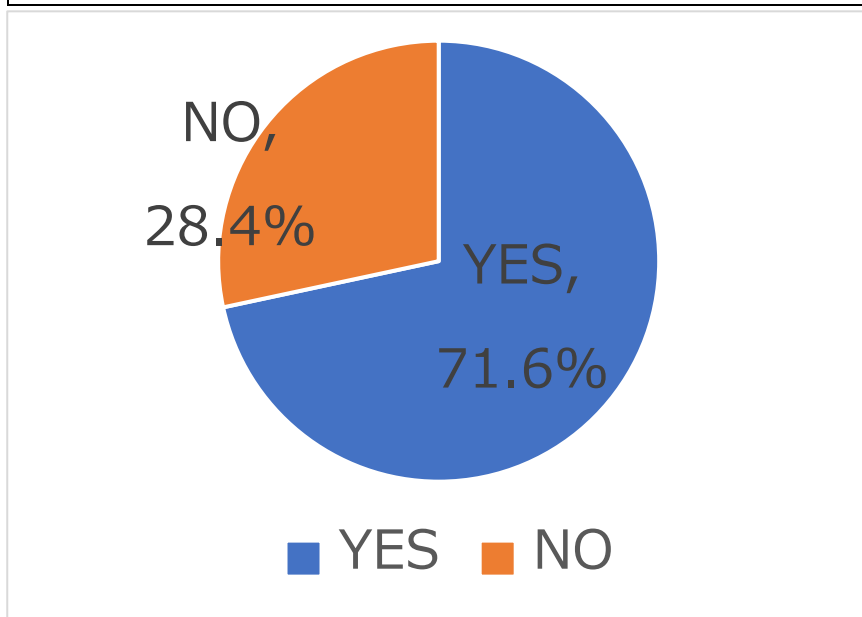
- ホームページへの、リレー投稿。
- 定期開催の zoom 交流会（会議？）
- 一般の方とは難しいですが、医療関係者とはメーリングリストなどで繋がりたいかなあと。質問や相談時に返答に悩んだり困った時など良いのかなあと。
- 継続して学習することと併せて交流もできればいいと思いますが、適当な距離とルールが必要だと思ひますし、医療の知識があるファシリテーターのような存在が必要かと思ひます。
- どちらかといへば、YES です。YES、NO しか回答が無かったので。定期的な情報交換会など、会場開催と zoom 開催のミックス。これからのイベントの形はそうなると思ひます。
- 新しい治療法、投薬等の勉強会などがあれば参加したい
- 情報交換や今後の展開も含めて色々協力できる事が増えると思ひます。

（14）CCN 認定者間での繋がりを広げたいとは思わないと回答された方にお聞きします。その理由を教えてください。n=12

- 時間がないだけです。
- その必要性を感じないから
- 継続が難しい
- つながる目的を絞り込まないと難しい気がする
- 職場に有能な医療従事者や、他の施設に相談出来る医療従事者がいるため、そんなに必要性を感じていない
- CCN は医療者、患者と立場の違いから自分の求めるものと違った。
- 必要性を感じない
- あくまでも自分自身の勉強を深めるための受験だったので。
- 繋がりを広げる目的や活動のイメージがつかない。
- どの患者会に行ってもそうだが、活動しているのは乳がんの患者ばかり。肝胆膵のシビアな患者の立場からすると、白けるから
- 治療に関してアドバイスしたくなってしまいが、そのアドバイス内容が必ずしも最新とも限らないため。
- 特に必要と思わない

(15) CCN 認定後、自己研鑽をしていますか？ n=67

①YES	71.6%
②NO	28.4%



(16) CCN 認定後自己研鑽をしていると回答された方にお聞きします。

具体的な学習方法を教えてください。 N=47

- 癌緩和医療の自己勉強。アロマセラピストの資格取得。
- 主にフォーラムや冊子、国立がん研の冊子や動画。他の講演会の動画、図書館の書籍による学習（フォーラムでの講師が著者や編者になっている書籍を中心にしている）。グーグルスカラーを利用した論文。その他
- シンポジウムなど。
- レジメンや新薬について調べる
- BEC 再受講、講演会、ネットの情報チェック
- BEC や健康経営アドバイザーなど学ぶ機会を増やす。自己研鑽というほどでもないですが、何もやっていないわけでもないのでも YES と回答しています。
- 研修参加
- 専門書やネットで学習
- 論文を読む
- 自分自身社会復帰へ向けてネットや電話でやりとりしています。
- 認定がん専門相談員の継続研修 E ラーニング受講
- がんに関する情報を調べたり読んだりしている。
- 全国がん種患者団体連合会の「がん教育外部講師のための e ラーニング」の受講
- 論文を見て外来がん医療ノ動向を掴む
- 学会、講演会など感謝が参加できる場合は参加して知識を上書きするようにしていま

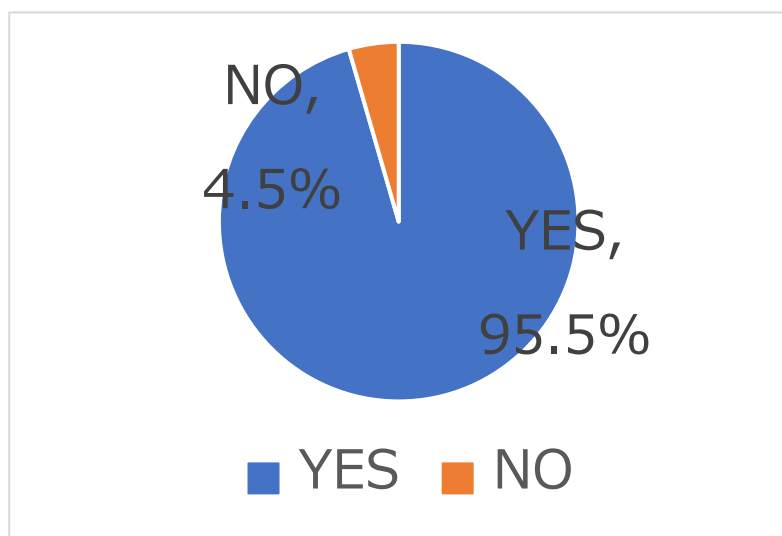
す。

- 書籍、ネットニュース、講習会など。
- がん患者に関する勉強会、ネットでがん関係の内容を読むなど
- がん関係の多くの研修会等に参加
- ネットや書籍で、また研修会などに参加している
- ネットや本で
- ネットから定期的に情報収集をしている
- 色々ながんについての研修会や勉強会に参加したり、最新の治療やゲノム医療について調べたり学んだりしている。
- 緩和学会などへの参加
- 大学院で対人援助を学んでいる
- 仕事の中で学ぶ事、セミナーの動画などを見て学ぶ方法
- セミナーや学会
- 学会等に参加し新しい情報の取得に努めている。
- がんの手術後や抗がん剤治療、術後の後遺症などで苦しんでいる人を精神面・経済面も含めどんな福祉制度や公助や患者会などが支援が必要か、また、できるか
- CNJのキャンサーチャンネルを拝聴したり、BECのお仲間からのいろいろな情報をいただいたりしています。
- 日々担当するがん患者への看護の関わりに対して、キャンサーチャンネルを視聴するなどし、症例の振り返りをしている。
- 勉強会に参加したり、大学病院のHPで最新情報を集めたり。
- CNJさんの冊子、がん情報サービス、ガイドラインなどを使用
- オンラインで受講可能なレベルの高いセミナーの受講海外も含む②関係がん種の医学専門誌を読む③政策提言に関わる力を持てる様、市民パネルのトレーニング講座を受講
- 論文、書籍、セミナー参加
- 学会参加
- CNJにアップされている動画や書籍を購入して休日や休憩時間に勉強
- がん患者支援団体連合会や医科歯科大学の市民公開講座、ピアサポーター補完研修などに参加している。日経新聞ほか読売朝日などでのがん関係記事にも目を通すようにしている。
- 多様ながんやゲノム医療に関するセミナーの聴講
- セミナー、講演の聴講。
- がんナビゲーターの部分と少し離れるが、ファイナンシャルプランニングを学んだ
- 仕事上最新の知識も求められるので学会所属し研修会などに参加
- CNJのイベントやセミナーに参加。他団体の学習ツールも利用。がん以外の病気、障害についても、信頼できる団体のHPや出版物等で学習。支援団体や患者団体の学習会に参加
- サイト、ニュースなどの情報収集

- 更新された標準治療のガイドライン等は目を通してている。careNet などネット情報の入手等。
- 自身の疾患に関連する学会の解説ページを読む。
- 医療関係者とお話をしたり、文献を読んだり。
- キャンサーチャンネルでの動画視聴、パンフレットを用いた学習

(17) CCN 認定者を対象とした WEB セミナーを開催する場合参加を希望しますか？  
n=67

① YES	95.5%
② NO	4.5%



(18) WEB セミナーを開催する場合参加したいと回答された方にお聞きします。  
開催内容についての要望がありましたら、教えてください。

- 最新の癌治療について
- 現在、病老介護状態のため、Web 環境が手元になく、週 1~2 回の日中の数時間しか Web を自由に使うことができない。できれば、開催後もセミナーで学習できるように一定期間動画を残してほしい。
- がん教育に関する外部講師の役割についてなど。
- なんでも興味があります。
- 新しい治療法、薬など
- 肺がん、大腸がん、婦人科系がん、血液系がんなど主要ながん種ごとの詳しい解説 (CNJ さんのビデオにはあると思うのですが、どれが一番まとまっているのかよくわからないため)
- 平日日中
- 患者さんの困りごとなど具体的なことが聞きたい。それを受けて、ディスカッション

など。

- 認定者のレベルに合わせて
- 免疫療法の展望
- ガン患者になった時の本当の気持ちと家族にして欲しいこと。
- 傾聴などの患者さんとのコミュニケーションスキルのセミナーを受講できたら大変有り難い。
- メールで教えていただいている交流会やセミナーの様子等を紹介していただきたい。
- どのような活動をしているか、また活動するうえで障壁となっていること
- まずは、主要なガン種での特徴と主たる治療法について。ガン種ごとのセミナー。そして、最新治療について。2020年度版で聴きたい。
- がんに罹患した患者様がどのようなことで困っておられるか、どんなサポートがあれば助かるかなど。また既に医療機関の患者サポート窓口や患者会で活動されている内容など。
- どのようなことをしているのか具体的に実施している内容など。
- 医師によるがん治療の現状
- 個人的な「慣れ」の問題かもしれませんが、先日のオンライン講習会では ZOOM を使うのが初めてで操作に手間取り、そのことが気になってあまり集中できず、せっかくの先生のよいお話を聴き逃した部分がありました。もしまた ZOOM を使うのであれば、後日、参加者向けに録画したものを配信してくださると助かります。
- 新しい話題について知りたい
- 同じ地域の人ともつながれる、同じ職業の人ともつながれるのがいいです。
- 特になし
- がんに関することならなんでも。
- 場所を選ばないから
- 土曜日の午後は予定が入りやすい（セミナーがありがちな時間）なので、夜遅い時間が良い。
- オンラインを通じた交流
- web 開催を望む
- 最新の情報について教えて欲しい。
- 私は医療関係者ではなく、がんサバイバーであり患者会のお手伝いをしている。がんの手術後 2~3 週間で気持ちの準備もできないまま退院、その後の支援のについて
- コロナ禍の今にあって、それぞれのガン種で特に気をつけるべきことなどを学びたいです。
- 看護の医療現場で活用できる情報をいただきたい。
- 新たな治療法など
- 癌の中で生存率の低いすい臓癌について詳しく知りたい。国立がん研究センター東病院のすい臓がんの勉強会には 2~3 度参加しましたがすい臓は難しいです。慢性膵炎との関係も知りたいところです。
- 肺がん患者会のワンステップが主導した患者提言治験について聞きたい。同様に行う

## ためのノウハウ

- 癌種別の薬剤の最新傾向
- 新しく保険適用になった治療や最新の情報など
- 受験の際必須となっていた講義の映像に一部含まれていたような、患部の写真は避けたい
- 思いつきません
- ナビゲーターの立場は、あくまで迷っている患者さんたちに、適切な医療機関へつなぐことかと思っているので、あまり細かい医学最新知識を聞いても医師ではないので、多くの迷われている患者さんたちへの、道しるべとなる知識（最新の動向等）は聞いておきたい。（オーダーメイド治療が今後進んでいくだろうが、遺伝子検査ができたとしても、その先の最新治療法が受けられるかどうか分からず、いたずらに患者に希望を持たせるようなことはかえって混乱に拍車をかけてしまいます）
- がん種は問わず、知っておくべき制度や新たな治療法。それらを調べるのに最適なWEBサイト。資格者に期待する役割について、医療者や患者会からの示唆。
- 各論をやるときりがないので、総論を広く浅く。
- 治療を受けながら働く人たちがぶつかる不便さなどについて知りたいです。（例抗がん剤治療の予約をして、仕事を休んで病院に行っても、体調が悪いと治療を受けられず、日を改めることになる等。当事者でないとうからない不便さについて）
- 日時はなるべく早めに教えて欲しい。
- 参加費無料でないと参加厳しいですね。
- 予定が合えば参加します。パソコンやスマホもない、インターネットがわからない方のサポートについて。今はかろうじて、電話。個別面会しか手はない？
- 現在更新された治療、新しく保険適用された治療等。コロナ対策中のがん患者の治療フローなどがあれば知りたい
- より正しい情報を見分けるスキルなど。
- 臓器別がんのトピックス、標準治療、リハビリテーション

（19）ご意見ご要望があればご自由にお書きください。

- 地方にいてかつ希少がんを患っていると、大学病院やがん拠点病院でさえも標準治療が当たり前に行われているのか不安になることがある。そんな時、CNJの情報は遠くにあっても「光」と感じる。地方では今できなくても、明日には、といった希望を特にフォーラムのビデオやHPの情報で感じている。CCNの認定を得るために広く学んだことで、より実感を持って転移がんが治る時代が到来するだろうと感じている。
- webセミナー楽しみにしています。自由な時間に見ることができるとうれしいです。
- 広島ではイベントが少ないので、ITを活用したセミナーは歓迎します。
- 自分の経験でガン患者やその家族を少しでも救えればと思います。



- CNJ がんナビゲーター取得後のフォローアップ研修やナビゲーターと出会う機会があると嬉しいです。
- 3年ごとにテストで更新ですが、更新を希望する場合はセミナー受講で更新するシステムにしてほしい。
- 自分自身はがん経験者ではありませんが、友人・仕事を通じて接する機会があり正しい知識を身に着けて、情報を求められた際には適切に案内できるようにしておきたいと思っています。
- 何もしていない人でも参加できるような柔軟なものにしてほしいです。
- 学びあえる仲間ができるような環境が欲しいです。常に学び続けられるように
- 意見交換をしていきたい
- がんサバイバーにとってすでにがんになって手術を受けており医療の知識より、その後死ぬまでどう生きるかが大切。そのために学び、活動したい
- 最新の治療法や知見などのメールマガジン送付
- 自分の罹患したがん種以外は全くわからなかったので、勉強できて良かったです。
- 人とのつながりは宝物です。そんな場があったら、すごく嬉しいです。
- 情報の交換の場がないと思っておりましたが活発になればお互いにプラスになることも多いと思います。その事がガン患者の方に有益に作用するのではないかと思います。
- エキスパートペイシャントの証のはずだが、正直 CNJ として活かし切れていないのではないか。辛口な言い方になるが、受験料も高いし受験料ビジネスと思われるも仕方がないのではないか。二階建てにしてよりアドバンスドながん種別のエキスパートペイシャントの資格を作るなど、一目を置かれる資格であって欲しい。